



川本幸立 会派室にて

市民ネットワーク

かわもと ゆきたつ

川本幸立の街づくり通信

川本幸立HP：<http://www.k5.dion.ne.jp/~kawamoto/>

みどり区 Vol.53

発行：市民ネットワーク 川本幸立
編集：市民ネットワーク・みどり
〒266-0031
千葉市緑区おゆみ野 3-40-8
河野ビル 101号
Tel&Fax：043-293-8011
E-mail：midori@chibanet.jp

7月13日朝刊(「毎日」千葉版)で「学芸会の緊張感すらない議場は、民主主義の主戦場ではない」と県議会などを評した記事を見つけました。私が6月議会で感じた3つの不思議な現象を紹介します。

何とかしたい千葉県議会

八百長と学芸会の県議会議場を 真剣勝負の場に

不思議

その3

1社だけの競争入札!

落札率100%? 10億円の館山港棧橋工事

6月議会の議案の一つに館山港に多目的棧橋を約10億円で建設する工事請負契約がありました。ところが入札対象事業者が98社もあるにもかかわらず入札したのは1社だけでしかも落札率100%でした。県土整備常任委員会の審議の中で、この事業が船の発着にさして効果もなく、事前に行った経済効果や費用便益の試算も杜撰なものであることが判明しました。しかもこの落札業者である(株)東洋建設は防衛施設庁の官製談合事件などで指名停止処分を受けていることから入札資格をめぐって一時、委員会審議が中断するほどでした。なぜ入札者が1社でかつ落札率が100%なのか、その妥当性について委員会審議の過程でも納得の出来る説明は行われませんでした。しかし、自民など多数が採択しこれらを不問にしました。

不思議

その1

なぜ地元県議は取り上げない?

千葉の残土問題

7月6日にテレビ番組「噂の東京マガジン」でもとり上げられた木更津市の真理谷津を建設残土で埋め立てその上に野菜をつくる「農業法人かずさ風の丘」問題、富津市金谷の残土問題、6月の本会議で市民ネットの大野博美(佐倉市選出)県議が一般質問で取り上げました。佐倉市から何度も現地に足を運び、関連文書の検討を踏まえたものです。しかし、この残土問題、地元の県議は取り上げません。なぜか、いろいろ考えてみましたが「〇権とシガラミ」しかその理由が思い当たりません。

不思議

その2

「質問するな!」

と圧力をかける自民委員

県議会には分野ごとに「専門的でかつ詳細な審査」を行うため8つの常任委員会があります。

委員会は固有の調査権によって専門知識を蓄積し、住民全体の利益の立場から行政機関を批判・監視することを使命としています。議案・請願などの実質的な審議が行われる場ですから、審査は「一問一答」形式で十分時間をかけることが前提です。しかし、残念なことにこの委員会の使命を理解していない議員が多数を占めているのが県議会の実態です。今回、私は、所属する県土整備常任委員会で「質問するな!」「職員に聞けば済むことだ」などという自民委員の圧力をハネのけ、事前の調査や職員からの聞き取りを踏まえ、12項目の質疑を行いました。

県議会を変えられるのは皆さんの「目」です!

県議会日程(予定)

15日	9日	8日	7日	6日	2日	10月1日	30日	29日	26日	25日	9月18日
水	木	水	火	月	木	水	火	月	金	木	木
閉会	〃	〃	〃	常任委員会	〃	〃	一般質問	代表・一般質問	代表質問	代表質問	開会

ぜひ県議会議場へ来てください。

千葉県議会について、みなさんの率直なご意見をお待ちしています。

千葉テレビで中継されます

※日程は予定なのでご注意ください

実質審議の場である常任委員会は8つに別れています。教育に関心のある方は文教常任委員会を、福祉に関心のある方は健康福祉常任委員会を傍聴されてはいかがでしょうか?川本幸立は県土整備常任委員会(10/7予定)に所属しています。

川本幸立が1時間の代表質問に登壇します。議場で、もしくはテレビでぜひ傍聴してください。翌日には、千葉県議会のHPでビデオ視聴することもできます。

日程や詳しい内容は、9月中旬以降に千葉県議会のHP、または川本幸立のHPをご覧ください。

お電話でのお問い合わせ：市民ネットワーク千葉県 043-201-1051

県土整備常任委員会 川本幸立の質疑から

長期的な公共事業のあり方

川本：県土整備部所管施設の20年度の維持管理・更新費の総コストはいくらか。また今後10年程度はどうか。

県：20年度は約258億円だ。将来については今後検討していきたい。

県民負担760億円の八ツ場

ダムの疑わしい治水効果

川本：6月3日の参議院財政金融委員会の質疑で、八ツ場ダムの治水効果を示す資料が存在しないなど、杜撰な評価が明らかになった。国も地域の声を聞きながらダムの費用便益分析について不断に見直し点検すると答弁している。県も具体的な治水効果を国に問いたたすべきだ。

県：国の作業を注視したい。

木更津高専生

死亡事故への対応

川本：6月19日に羽田拡張事業土砂運搬に係るダンプにより16号線に入る信号機のない交差点で死亡事故が発生した。事故のすべての要因を洗い出し、羽田関連以外のダンプも走行

ルートを規制するなど二度と起きないよう対策が必要だ。燃料費高騰への対応も必要だ。

県：事故については関係団体に文書による申し入れをした。燃料費高騰分の補填については国に申し入れをしている。

予算情報の開示

川本：2月の委員会で予算の基礎データの提供や予算編成段階の公開を求めたがその後の状況は?

県：全庁的な問題については財政課と協議している。一方、開示している他の自治体の調査など部として進める。

改正建築基準法、改正建築士法などをめぐる課題

川本：県内新設住宅着工戸数の前年比18.7%減は建築基準法不況、「官製不況」と言われている。11月施行の改正建築士法や住宅瑕疵担保責任履行法により、建築確認業務の混乱、供託積立などによる中小建設業への一層のシワ寄せが心配され、県に対しそれらへの備えを要望する。